

III しごとづくり分野

柱1 地域の雇用を支える産業の育成支援【商工観光・雇用就労】

多くの観光客が訪れ、地域経済が活性化し、地域に雇用の場が確保され、にぎわいと活力あふれる、住みよいまちとなっている

柱2 農業の安定経営と農業施設管理【農業振興】

効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられている


まちづくり評価シート

Ⅲ	しごとづくり分野	R6担当部・課
柱1	地域の雇用を支える産業の育成支援 － 商工観光・雇用就労 －	経済環境部 商工観光課 企業誘致推進課


1、まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標	多くの観光客が訪れ、地域経済が活性化し、地域に雇用の場が確保され、にぎわいと活力あふれる、住みよいまちとなっている
-------------	--


指標名	市内に魅力ある商業施設があり、市外へ出ることなく買い物できると感じる市民の割合
------------	---

	H29 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	63.0	令和5年度の実績値は、平成29年度の基準値から4.4%減少し55.1%となった。郊外型の大型店に加え、市街地周辺には様々な小売店が立地しており、一定の満足度は得られていると考えられる。
実績値	59.5		55.1	
達成率 (達成状況)		%	87.5 	

指標名	地場産業を中心に産業が活性化し、地元での雇用の場が確保されていると感じる市民の割合
------------	---

	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	7.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から4.1%増加し7.6%となった。市内には大規模事業者が少なく中小企業等が大半を占めているが、雇用情勢は持ち直しの動きが広がりつつある。また、安良区域への企業誘致の成果が表れてきたことも要因と考えられる。
実績値	3.5		7.6	
達成率 (達成状況)		%	108.6 	







指標名	江南市の魅力を広く発信し、多くの観光客でにぎわっていると感じる市民の割合
------------	--------------------------------------

	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析
目標値	－	%	10.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から1.8%減少し6.0%となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から令和4年度にかけてこうなん藤まつりが中止になるなど、市内を訪れる観光客が減少したことが一因と考えられる。
実績値	7.8		6.0	
達成率 (達成状況)		%	60.0 	

個別目標 ①	商工業の振興により、活気のある地域社会となっている
---------------	----------------------------------

≪R6担当課≫商工観光課

指標名	中小企業支援策が十分であると回答した事業所の割合
------------	--------------------------

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	%	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0
実績値	2.0		5.3	6.0	5.3	8.6	6.1	6.3
達成率 (達成状況)		%	53.0 	54.5 	44.2 	66.2 	43.6 	42.0 

個別目標 ②

地域に雇用の場が確保され、生き生きと動いている

≪R6担当課≫ 商工観光課

指標名	ハローワーク犬山管内の有効求人倍率							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	倍	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
実績値	1.08		1.58	1.48	0.92	1.05	1.17	0.94
達成率 (達成状況)		%	63.3 	67.6 	92.0 	95.2 	85.5 	94.0

個別目標 ③

市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している

≪R6担当課≫ 商工観光課

指標名	観光客数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	1,825,000	1,840,000	1,855,000	1,870,000	1,885,000	1,900,000
実績値	1,805,038		1,475,721	1,577,402	927,645	925,937	988,919	1,341,807
達成率 (達成状況)		%	80.9 	85.7 	50.0 	49.5 	52.5 	70.6

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
地場産業活力向上事業	市役所本庁舎内や江南駅構内などの展示スペースにおいて、市内産業の紹介を行った。
★ 創業支援事業	産業の活性化及び雇用の創出に資するため、市内で新たに創業する人に対して、創業支援セミナーの開催や創業支援補助金の交付を行った。
★ 企業誘致等推進事業	企業の新規誘致を推進するため、トップセールス等のPR活動やワンストップサービスによる伴走型支援を行った。また、市内企業の定着を図るため、各種優遇制度での支援を行った。
★ 新工業用地整備事業基金管理事業	新たな工業用地を整備する財源を確保するため、基金を積み立てた。
★ 曾本地区工業用地整備推進事業	曾本地区工業用地整備方針を策定し、開発区画や手法の検討を行った。コロナ禍の収束を機に事業を再始動し、地元説明会を開催するとともに、地権者同意の取得に着手した。
★ 商工業補助事業	市内商工業の振興のため、中小企業振興会議を開催するとともに、中小企業振興補助金・商業団体等事業費補助金の交付等を行った。
中小企業金融円滑化事業	中小企業等の経営安定に資するため、金融機関への預託金事業や保証料・利子に対する補助金の交付、市内事業所への景況等調査を行った。
就業相談等運営事業	市内の就労環境改善のため、江南市地域職業相談室の設置や就職相談、職業適性検査を実施した。
中小企業退職金共済加入促進補助事業	単独で退職金制度を持つことが困難な中小企業等の退職金共済制度への加入促進のため、事業所が負担する掛け金の一部を補助した。
すいとびあ江南維持運営事業	指定管理者の管理運営について、毎月の業務報告を確認し、モニタリングを通して四半指定期ごとに評価、指導等を行った。また、運営委員会を年3回開催し、健全な施設の運営に努めた。
すいとびあ江南施設改修事業	すいとびあ江南は令和8年度に譲渡または廃止の時期について決定することとしており、その間の、市による大幅な改修工事は必要最低限にとどめた。修繕についても、施設の安全管理や経年劣化などが原因で、施設の運営上、必要となる修繕を優先的とした計画的な改修を実施した。
★ 観光推進事業	市観光協会を通して、観光キャンペーンの実施やこうなん藤まつりを開催したほか、観光マップ等の作成や江南駅構内にデジタルサイネージを設置し、江南の観光施設の紹介を行うことで、観光客の誘客に努めた。
江南市民花火大会補助事業	江南市民花火大会を開催する江南市民花火大会実行委員会に補助金を交付した。また、ポスター、広報こうなん、SNS等で市内外にPRを行った。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
就業相談等運営事業	いちのみや若者サポートステーションの受託団体であるNPOと連携して、出張相談や職業適性診断を行うなど若年者の就労相談に関する取り組みを行った。
観光推進事業	こうなん藤まつりなど催事の実施にあたっては、市民等がボランティアとして参加するなど、観光客と関わりを持ちながら活動した。

3、まちづくり評価の結果

得られた成果 (優良点)	<p>企業誘致による新規企業の立地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安良区域で行ってきた企業誘致の結果、令和5年10月までに6社の立地が決定し、5社が操業を開始した。
今後の課題 (問題点)	<p>観光客数の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうなん藤まつりなどイベントは実施されたが、観光客は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける前までは戻っていない。 (H28 : 1,805,038人 → R5 : 1,341,807人) <p>中小企業振興策が十分であると感じる事業者の割合の伸び悩み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の支援策に加え、中小企業振興会議での議論を経て新たな支援策をスタートさせ、指標の上昇には結びついたが目標 (15.0%) との隔たりが大きい。 (H28 : 2.0% → R5 : 6.3%)
今後の方向性 (改善点)	<p>シティプロモーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PRと一体になったシティプロモーションを推進し、観光客の増加を図る。 <p>新たな工業用地の整備による企業誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曾本地区に新工業用地を整備するため、地権者同意の取得や周辺整備を進める。

まちづくり評価シート

Ⅲ	しごとづくり分野	R6担当部・課
柱2	農業の安定経営と農業施設管理 － 農業振興 －	経済環境部 農政課

1、まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標

効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられている

指標名	効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられていると感じる市民の割合							
	H28 (基準値)	単位	R5	実績値の分析				
目標値	－	%	18.0	令和5年度の実績値は、平成28年度の基準値から0.8%減少し16.7%となった。 野菜指定産地として指定を受けているねぎ、大根などの農作物の収穫量が年々減少しており、農業従事者の高齢化や担い手不足などが要因と考えられる。				
実績値	17.5		16.7					
達成率 (達成状況)		%	92.8 					

個別目標 ①

農業従事者の経営が安定し、農地や農業用施設が適正に保全され、農地が有効活用されている

指標名	認定農業者数							
	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	人	30	30	30	30	30	30
実績値	30		20	20	21	21	22	24
達成率 (達成状況)		%	66.7 	66.7 	70.0 	70.0 	73.3 	80.0

指標名

担い手への農地の利用集積面積

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	ha	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0
実績値	8.2		16.4	18.2	18.1	19.9	19.5	17.9
達成率 (達成状況)		%	164.0 	165.5 	150.8 	153.1 	139.3 	119.3

指標名

市民菜園の面積

	H28 (基準値)	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標値	－	㎡	40,484	40,484	40,484	40,484	40,484	40,484
実績値	40,484		40,484	40,484	39,680	39,664	39,440	39,440
達成率 (達成状況)		%	100.0 	100.0 	98.0 	98.0 	97.4 	97.4

主な事務事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
★ 農業振興事業	こうなん産業フェスタ開催のため、江南市農業まつり運営協議会を支援した。
担い手育成支援事業	認定新規就農者に対して、農業人材力強化総合支援事業費補助金を交付した。
★ 農業者経営安定化事業	水田耕作者の経営所得安定への支援や地域農業の振興を行うため、市や愛知北農業協同組合、土地改良区などで組織されている江南市農業再生協議会に補助金を交付した。
県営水質保全対策事業（昭和用水地区）負担事業	愛知県が用水路の更新工事を施工するにあたり、県や関係市町との協議を実施した。また、事業費の江南市負担分の支払事務を行った。
県営震災対策農業水利施設整備事業（中般若地区）負担事業	愛知県が畑地かんがい揚水機場の更新工事を施工するにあたり、県と協議を実施した。また、事業費の江南市負担分の支払事務を行った。
県営水質保全対策事業（新岩倉用水地区）負担事業	愛知県が用水路の更新工事を施工するにあたり、県や関係市町との協議を実施した。また、事業費の江南市負担分の支払事務を行った。
県営用排水施設整備事業（丹羽排水地区）負担事業	愛知県が排水路の更新事業を行うにあたり、県や関係市町との協議を実施した。また、事業費の江南市負担分の支払事務を行った。
宮田導水路上部整備事業	愛知県が宮田導水路上部整備を施工するにあたり、県との打合せや地元との調整を行った。また、事業費の江南市負担分の支払事務を行った。
県営たん水防除事業（新大江地区）負担事業	愛知県が大江排水機場の更新工事を施工するにあたり、県や関係市と協議を実施した。また、事業費の江南市負担分の支払事務を行った。
大江排水機場施設維持管理負担事業	大江排水機場の整備補修として実施した大江排水機場施設維持管理適正化事業における江南市負担分の支払事務を行った。
江南市土地改良区施設維持管理補助事業	農業生産性の向上と農業経営の安定化を図るため、江南市土地改良区が所有する農業水利施設を適切に維持管理できるよう補助を行った。

2、市民協働の推進状況

市民協働事業の取り組み

事務事業	取り組み状況
市民農産物秋の収穫祭開催事業	こうなん産業フェスタを開催し、市民と農業者が交流することで農業振興を図った。

3、まちづくり評価の結果

得られた成果 （優良点）	<p>農地利用集積面積の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構等を活用した農地の利用集積の促進により、有効活用される農地面積が増加した。 （H28：8.2ha→R5：17.9ha） <p>認定新規就農者の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の主要な担い手となる認定新規就農者数が増加した。 （H28：延べ3人→R5：延べ16人） <p>農業用施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化が激しい水路等の農業用施設に対し、県営事業による改修を推進した。 （H28以降に開始された県営事業数：5地区）
今後の課題 （問題点）	<p>耕作放棄地の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業従事者の高齢化、担い手の減少により耕作放棄地が増加することが課題である。 （H28：110ha→R4：206ha）
今後の方向性 （改善点）	<p>認定農業者増加への取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な農業者である認定農業者が近年高齢化のため減少しており、今後、新規就農者に認定期間終了後も耕作を継続してもらえるよう、認定農業者への登録を促し支援していく。 <p>農地中間管理事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 効率的な農地の活用を図るため、農地中間管理事業を広く周知し制度の利用者を増やすとともに、農地の集約が進むよう調整を図っていく。